

漏えい

発生日	都道府県	施設区分	死傷者及び 損害見積額	概要・原因・被害状況
1月	神奈川県	移動タンク 貯蔵所 (単一車)	死者 0名 負傷者 1名 1,400万円	移動タンク貯蔵所が移送中、降雪により凍結した路面においてスリップにより道路側壁に衝突、横転し、タンク室5室のうち4室に亀裂が生じ、ガソリン約3500リットル、軽油約2500リットルが流出したものの。
1月	愛知県	屋外タンク 貯蔵所 (特定)	死者 0名 負傷者 0名 2,885万円	石油製品を貯蔵取扱う油槽所において、ポンプから漏えいした灯油がポンプ囲い及び油分離槽をオーバーフローし、側溝、最終油分離装置を経て海上へ流出したものの。降雪及び冷え込みがポンプケーシングの破損が原因と推定される。
2月	広島県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 5万円	工場4の1階臭素計量槽から屋上の計量槽への送液作業中に1階送液配管の亀裂より臭素が飛散し、作業員一名が受傷したものの。
3月	千葉県	移動タンク貯蔵所(被けん引式)	死者 1名 負傷者 0名 1,500万円	有料道路出口の緩い下りカーブで移動タンク貯蔵所が転覆し、当該タンクの側面に亀裂が生じたため、積載していた灯油が漏洩(約5キロリットル)した。当該移動タンク貯蔵所は被けん引式で、事故発生時灯油20キロリットルを積載しており、転覆の際に第1、2、6室部分のタンク右側面に亀裂が生じた。
5月	埼玉県	移動タンク貯蔵所(単一車)	死者 0名 負傷者 1名 1万円	移動タンク貯蔵所(単一車)のタンク内を洗浄後、配管ドレンバルブ1か所を閉め忘れたままクレゾール酸を積載し、荷卸のために底弁操作バルブを開けたため、ドレンノズルからクレゾール酸60リットルが漏えいしたものの。
6月	新潟県	移動タンク貯蔵所(被けん引式)	死者 1名 負傷者 0名 1,577万円	移動タンク貯蔵所の運転手が危険物(ガソリン14キロリットル、軽油6キロリットル)を満載の状態で行進中、高速道路インターチェンジの出口付近でガードレールを突き破り約3メートル転落した。その際第1室、第6室、第7室の側板が破損し、亀裂及び穴からガソリン10,2キロリットル軽油5,9キロリットルが流出したものの。
6月	山口県	製造所	死者 0名 負傷者 7名 1万円未満	定期修理及び改造工事のため、ホスゲン凝縮器とホスゲン回収塔の連絡配管において、回収塔付近のフランジに挿入していた仕切板を取外したところ、仕切板上に残留していたモノクロールベンゼン(MCB)が約20リットル程度漏えいし、このMCBに溶解していたホスゲンがガス化し拡散したものである。
7月	神奈川県	給油取扱所(船舶)	死者 0名 負傷者 5名 2万円	アクリル樹脂反応釜付近に、作業時に使用した重合開始触媒の残量を存置していたため、連日の気温にて少しずつ溶解蓄熱、さらに、分解し発熱を促したため、一部がガス化し袋を破り、ミスト化し飛散充満、現場作業員5名が吸引し負傷したものである。
9月	神奈川県	危険物運搬中	死者 0名 負傷者 4名 1万円	危険物運搬貨物自動車(4トン)が走行中、対向の貨物自動車と正面衝突し、危険物運搬車の積み荷200リットル、20リットル、18リットルの各種容器のうち一部が落下し、18リットル、20リットルペール缶が落下の衝撃及びドラム缶の圧迫等により破損、道路に漏えいしたものの。
9月	宮城県	移動タンク貯蔵所	死者 0名 負傷者 1名 75万円	移動タンク貯蔵所が、運転操作の誤りにより横転しそのまま反対車線で作業中の2トントラック前部とタンク本体後部が衝突し、破損したタンク第4室マンホールよりA重油約2.0キロリットルが路上に流出したものの。

10月	和歌山県	製造所	死者 負傷者 0名 2名 1万円	熱交換器のフランジパッキンを交換作業中、隣接の熱交換器の液抜きノズルが破損し、中に入っていた約150度の吸収油（クレオソート油約1000リットル）が噴出し、パッキン交換作業中の熱交換器付近で作業をしていた作業員2名が被災した。漏えいした吸収油約1000リットルは防油堤内に留まり、自衛消防組織により回収が行われた。
11月	愛知県	移動タンク 貯蔵所 (単一車)	死者 負傷者 0名 1名 1,931万円	移動タンク貯蔵所が、県道を走行中に大型トラックの後方に衝突した。その際、タンク本体の鏡板の一部が損傷し、タンク第1室に貯蔵していたガソリン4キロリットルのうち、約2キロリットルが漏えいした。
11月	大阪府	移動タンク 貯蔵所 (単一車)	死者 負傷者 0名 2名 130万円	車両4台が関係する交通事故で移動タンク貯蔵所が横転、積載していたイソプロピルアルコール約10リットルが移動タンク貯蔵所上部の安全弁から路面に流出した。
11月	東京都	屋外タンク 貯蔵所	死者 負傷者 0名 0名 1,000万円	移動タンク貯蔵所にて大豆油10000リットルを注入した際、タンク底板に亀裂が生じ、防油堤内に約500リットルが漏えいした。通気管の引火防止網が目詰まりを起こしていたため、内圧が高まり、中仕切り板が溶剤貯蔵タンク側に湾曲し、その結果、中仕切り板とタンク底板との結合部がはがれ、破孔を生じ、そこから漏えいした。
12月	鳥取県	危険物運搬中	死者 負傷者 0名 4名 250万円	危険物運搬車両が走行中、県道交差点内にて衝突事故が発生し、その衝撃により横転し積荷である灯油（約1リットル）及び車両燃料である軽油が約30リットル流出した。この事故により、2名重傷、2名軽傷を負った。
12月	北海道	屋外タンク 貯蔵所	死者 負傷者 0名 0名 1,211万円	移動タンク貯蔵所にて重油を貯油するため荷卸し作業中、運転手が防油堤内の積雪の一部に重油色に染まっているか所を発見した。原因を調査・確認したところ、当該タンクの水抜バルブが開放状態であったことにより、水抜管から重油約34.6キロリットルが防油堤内に流出したことが判明した。
12月	愛知県	危険物運搬中	死者 負傷者 0名 1名 75万円	信号待ちのダンプカーに運搬トラックが追突し、更に押し出されたダンプカーがその前方の乗用車2台に追突した。当該運搬トラックには、一般の荷と共に危険物容器が積載されており、事故時に後部のパネル内で荷崩れを起して、危険物が漏えいした。